

① 《特集》 市民活動助成金の今

- ⑩ 《ヴォロ's トピック》
G20と市民社会
～C20に私たちのパッションを！
三輪 敦子（一般財団法人アジア・太平洋人権情報センター（ヒューライツ大阪）所長）
- ⑪ 《うおろ君の気にな～るゼミナール》
「マンスプレイング」って？
仁科 あゆ美（一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団 理事兼本部長）
- ⑫ 《実録・市民活動「私のいちばん長い日」》
介護保険への“カメ風”に抗した日
樋口 恵子（評論家、NPO法人高齢社会をよくする女性の会 理事長）
- ⑬ 《東日本大震災 気仙沼市発～現地から伝える「被災地の今」》
投稿がひらく被災者の心のとびら
布田 剛（認定NPO法人地星社 代表理事）
- ⑭ 《V時評》
1. 神戸レインボーハウス20年
2. 市民が裁判員を経験することの意味
- ⑮ 《ドクター長浜のソーシャルマネジメントの処方箋》
五つのアプローチで組織を支援する！
長浜 洋二（モジョコンサルティング合同会社 代表）
- ⑯ 《現場は語る ～コーディネートの現場から》
西日本豪雨災害ボランティア
高校生が大活躍
佐野 裕二（総社市社会福祉協議会 事務局長、総社市災害ボランティアセンター長）
- ⑰ 《市民活動の暦（こよみ）～2月、3月にあったこと》 **最終回**
100年前……「大原社会問題研究所」設立
- ⑱ 《U35》
天野 浩史さん
（NPO法人静岡フューチャーセンター・サポートネットESUNE 代表理事）
- ⑳ 《この人に》
中村 敦夫さん（俳優、作家）
- ㉑ 《アゴラ／シネマ／ライブラリー》
「ブック&カフェ ココアル」／『百年の蔵』
／書籍紹介
- ㉒ 《傍聴カフェ～裁判からみえる社会》
ケースNo.11 「高齢者虐待の殺人未遂」



まちを住み良くするしくみ

赤い羽根共同募金

例えば……

共同募金は、地域をつくる市民を応援していきます。



地域で、子育てのお手伝いをしたり、悩んでいるお母さん、お父さんの相談にのる活動や、



障がいのある人が、まちで幸せに暮らせるお手伝いをする活動や、



地域で、1人暮らしや寝たきりの高齢者に、栄養の整った食事を届ける活動や、



地域に住むみんなが「安心・安全」に暮らすための活動や、

地域のいろいろな活動のために役立てられます。

- 共同募金会では、今年の重要配分テーマを『障がい児・者の福祉の増進』とし、障がい児・者を支援する事業に対して積極的に助成いたします。また、全国共通助成テーマである「地域から孤立をなくそう」に関わる事業をはじめ、社会的課題を解決するための事業や社会福祉制度の「はざま」となる事業、先駆的・開拓的な事業など幅広い民間社会福祉事業、地域に根ざしたさまざまな福祉活動の支援を行ってまいります。
- 国内で大きな災害が発生した時は、共同募金は都道府県域を超えて、被災地で被災した人々を助ける活動の支援も行います。
- 寄付金には、税の特典があります。会社など法人の寄付金は、全額損金算入できます。個人の寄付金は、所得税の所得控除または税額控除、住民税の税額控除の対象になります。

赤い羽根おおさか

www.akaihane-osaka.or.jp/
募金の使いみちはすべて、ホームページに掲載されています。



【特集】

市民活動助成金の今



第9回「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」助成を受けたNPO法人C・キッズ・ネットワーク。兵庫県西宮市に事務所を持ち、兵庫を中心に子どもの消費者教育に取り組んでいる。



阪急阪神 未来のゆめ・まち基金
主催:阪急阪神ホールディングスグループ

阪急・阪神の鉄道・バスの沿線で「地域環境づくり」や「次世代の育成」に取り組む団体を助成。従業員の募金を集め、同額を会社が上乗せ。10回目となる2018年度はこれまでの「団体助成」に加えて「事業助成」を設定。



第13回「積水ハウスマッチングプログラム」助成を受けた、認定NPO法人日本レスキュー協会。対象プロジェクトは「病気と必死に闘う未来を担う子供たちの側にいつも『セラピードッグが寄り添う病院』を目指して」。



積水ハウスマッチングプログラム
主催:積水ハウスマッチングプログラムの会

積水ハウスグループの役員・社員から拠出金を募り、会社から同額のマッチングギフトを提供。基金は「こども基金」「環境基金」「もも・かき育英会基金」「住・コミュニティ基金」の4種類。

市民団体にとって重要な財源の一つ、市民活動助成金。関心は「お金がもらえる」ことに集まりがちだが、助成元や助成プログラムについて理解を深め、選考委員や助成財団の視点を知ることが、よりよい助成事業につながるだろう。市民活動助成金の活用と意義を、あらためて考えたい。

【特集チーム】梅田 純平、神野 武美、永井 美佳、増田 宏幸、村岡 正司、百瀬 真友美

どこが助成する？

市民活動助成に積極的な助成財団は、資産総額・年間助成額とも国1とされる。

市民活動助成に積極的な助成財団は、資産総額・年間助成額とも国

誰が出すお金？

助成財団

助成を行う団体として知られているのが「助成財団」だ。民間の財団活動の基盤整備を目的とする助成財団センターは、助成財団とは次のような事業を行う団体と定義している。

- ①個人や団体が行う研究や事業に対する資金の提供
- ②学生、留学生等に対する奨学金の支給
- ③個人や団体の優れた業績の表彰と、賞金等の贈呈

したがって、助成対象は市民活動だけではない。というよりも、同センターの2017年度調査では、助成プログラムで最も多いのは研究関連の助成となっている。少し前まで育英奨学の助成がそれに続いていたが、現在は研究助成と育英奨学助成と市民活動助成の比率は、ほぼ2対1対1とされる。

誰が、何に出すお金？

市民活動助成金のバリエーション

「市民活動助成金」にはさまざまな種類があり、団体や助成を受けたい事業に合うもの、合わないものがある。応募の判断材料として、多様な市民活動助成金のバリエーションをまず概観したい。

編集委員 百瀬 真友美

協力・特定非営利活動法人市民社会創造ファンド 坂本 憲治

内1位の日本財団や、トヨタ財団（8ページ）など。設立主体は、企業などの民間組織と、国や自治体などの行政組織に大別される。民間が設立した財団の市民活動助成は、独自に支援対象や狙いが検討された、特色あるものが多い。財団運営も、助成の専門職「プログラムオフィサー」育成に力を入れる財団、事務局をできるだけシンプルにして助成額を最大にすることに努める財団など、それぞれのカラーがある。法人格は一般／公益財団法人が多いが、一般／公益社団法人や社会福祉法人、特定非営利活動法人もある。

「市民活動助成金」にはさまざまな種類があり、団体や助成を受けたい事業に合うもの、合わないものがある。応募の判断材料として、多様な市民活動助成金のバリエーションをまず概観したい。

共同募金

寄付を原資とする仕組みで、国内でも規模が大きく歴史が長いのが、共同募金である。

赤い羽根共同募金は、事業実施の前年度に助成申請を受け付けて、その年の10月から翌3月まで募金運動を行い、集まった募金が事業実施年に配分される。全都道府県の共同募金会が運営し、全国で5万件を超える民間活動を支援している。

企業

財団を経由せずに、企業が直接助成プログラムを設ける例。助成対象分野は企業の商品やサービスと関連することが多い。

窓口は社会貢献部門などで、募集・選考・助成・報告などの運営に非営利の中間支援組織が協力することもある。助成金の原資は、企業が全額を支出する場合と、従業員や顧客の寄付と組み

合わせる場合がある（1ページ）。

行政

身近なのは、都道府県や市町村といった地方自治体の補助・助成制度。福祉、環境、文化など分野を限定したのものもあるが、市民公益活動全般を対象とするものもある。応募資格に地域的な限定が加わるため、全国規模の助成と比べて競争率は低め。関連する行政部門と連携できるメリットもある。

政府や独立行政法人によるものもあり、後者では福祉医療機構のW⁷AM助成（社会福祉振興助成事業）、環境再生保全機構の地球環境基金などがよく知られる。

原資は税金や寄付で、原則として行政のルールで運営される。

参考…

助成財団センター「日本の助成財団の現状」各ページ <http://www.jfc.or.jp/bunseki/bunseki-top/>（2019年1月6日閲覧）

赤い羽根共同募金 <https://www.akahane.or.jp/>（2019年1月6日閲覧）

どのように助成する？

公募型の助成プログラムは、「募集要項」を公開して申請を受け付ける。「法人でなくても応募できるか」「人件費は助成対象となるか」など多くの団体が気になる点は、各助成プログラムによって異なる。募集要項には、応募できる団体の条件や対象となる事業、費用、実施時期、募集時期などが詳しく書かれている。募集要項にしっかりと目を通して、自団体が応募するのに適切かどうか判断したい。応募を検討する時の主なチェック項目を囲んで挙げたので、参考にしてほしい。

どの助成も、単に「お金を出すこ

何を助成する？

市民活動助成で多いのは、特定のプロジェクトに対して資金の支援をする事業助成だ。団体を丸ごと支援するわけではないので、団体が取り組む活動の中の「この事業」で応募することになる。したがって申請書は、大きく分けると、

- ① 事業を行う団体を説明する書類
- ② 申請事業を説明する書類
- ③ その事業をするために必要なお金を説明する書類

の3種類が求められる。

助成先選定の審査により重要な

は、②と③だ。「こんな課題に対してこんな事業で取り組もうとしていて、そのためにはこのような費用がかかる」ということを、説得力をもって説明したい。事業以外を助成対象とする助成プログラムもある。たとえば、活動を続けるうえで必要な自動車や備品の購入費だけをサポートする助成がある。また、団体スタッフの人材育成や会員拡大など、組織力強化のための費用を助成するプログラムもある。団体自体に力をつけることを狙ったもので、事業助成とは目的が異なる。

と」が目的ではなく、助成した資金を使って団体が何らかの成果を生み、社会に価値を提供することが真の目的だ。そこで、助成プログラムによっては、事業実施中や終了後に資金提供以外のサポートが提供される。内容は、プログラムオフィサーによるヒアリング、外部のコンサルタントによる分析・提案、先輩活動者の伴走、助成先が集まる研修会や交流会、終了後の報告会などさまざま。

いずれにしても、助成元と助成を受ける団体が信頼関係に支えられたパートナーとなって、単独では生み出し得ない社会的価値を創出していきたいものだ。

COLUMN

「お金の出どころ」は助成プログラムに影響する

助成金の財源の性格によって、助成プログラムのあり方は変わってくる。

たとえば、助成金の原資を基金の運用益で賄う助成財団は、助成プログラムも比較的自由度が高い。財団の目的にかなうと思えば、助成先を非公募で選定し、財団側から声をかけることもある。一方、税金がもとになっている行政系の補助・助成制度は、常に公平性や公開性が重視される。自治体の制度なら、補助・助成を受けた事業の成果が地域住民にどう還元されるのかも通常は問われる。

また、企業による財源拠出が大きい助成プログラムは、企業活動としての意味や、企業として得られるメリットなど

が、どこかで求められるものだ。助成を受ける団体側も、たとえば助成元の企業がSDGsに積極的ならSDGsのどの分野と関連しどんな貢献ができるのかを説明できるようにするなど、意識しておくべきだろう。

一般寄付による助成プログラムや、企業の助成プログラムで従業員や顧客が寄付者として加わる場合などは、寄付者の参加機会が重視されやすい。助成先選定に寄付者の意向を反映する仕組みや、寄付者との交流・報告機会がセットされることもある。寄付者に分かりやすい事業内容や事業説明を心掛け、寄付者と出会うチャンスとして生かしたいものだ。

助成金の応募を検討する時の主なチェック項目

助成金の応募は、「募集要項」の確認から始まる。まず次のような項目をざっとチェックして、合いそうな助成プログラムと思えたら募集要項を熟読し、求められていることをしっかり理解しよう。

□そもそも、応募資格があるか？

応募資格は、助成プログラムごとに決まっている。法人格の有無や法人種別、設立〇年以上、所在地域など、明確な資格をまずチェックしよう。

□募集期間、決定時期、実施期間は適切か？

助成対象となる事業や備品購入を実施期間内に完了でき

るか、またその時期は団体として無理がないかなどを確認する。応募締め切りの時期や、審査結果が分かる時期も重要だ。

□助成を受けたい事業の趣旨・内容が「募集の趣旨」や「募集対象事業」に合うか？

趣旨や対象事業は特によく読んで、該当するかどうか判断しよう。

□助成額や対象費用が適切か？

助成額が団体の財政規模に見合うか、対象費用や補助割合が応募したい事業に合っているかなどを確認しよう。

Vol.104 「マンスプレイング」って?

うおろ君の 気にな〜る セミナー



まんが ■ ラッキー植松



「マンスプレイング (mansplaining)」とは、「男性」を意味する「マン (man)」と、「説明・解説する」を意味する「エクスプレイン (explain)」を掛け合わせた英語 mansplain の動名詞形。男性が求められてもいないのに、女性に対して「こんなこと知らないよね」「教えてあげる」的に説明をすることを表している。

この言葉が生まれたきっかけは、米国の作家・活動家でもあるレベッカ・ソルニットの体験。パーティで出会った年上の男性から、「今年出たばかりのとても重要な本を知っているかね?」と延々と話をされる。後で、目の前のその若い女性こそがその本の著者だったというブラックジョークのようなエピソードが、『説教したがる男たち (原題: Men Explain Things to Me)』(レベッカ・ソルニット著、左右社、2018年) に紹介されている。もちろんこのような男性ばかりではないが、この邦題に自らの経験を重ねて共感する女性が多いだろう。

18年に世界経済フォーラムが公表したジェンダーギャップ (男女格差) 指数では、日本は世界110位 (149カ国中)。特に政治・経済分野の順位は低く、女性の活躍はまだ道半ば。つまりマンスプレイングが起こりやすい社会構造があるということを確認しておくなければならない。

一般財団法人大阪府男女共同参画推進財団
理事兼本部長 仁科あゆ美



ウォロ2年分(12冊)を挟み込めるバインダー (1冊500円+送料340円)です。お問い合わせはウォロ編集部/office@osakavol.orgまで



コーヒー豆は自家焙煎。手作りスコーンとセットで800円



book and cafe cocoaru

大阪市城東区成育1-1-13 大阪ウスイビル101
(京阪「野江」徒歩3分・地下鉄「野江内代」徒歩9分)
電話 06-6932-2700

営業時間 月・土曜10:30~17:00 火・木・金曜10:30~18:30
水・日曜、祝休

利用者がおののペースで作業を行う

「ブック&カフェ ココアル」

大

阪市東部の京阪本線野江駅から歩いて約3分。住宅街の一角にたたずむ「ブック&カフェ ココアル」は、しやれた空間

に間接照明が配され、あたたかく居心地のよい雰囲気が漂う。お客は地域に住まう子連れママや高齢者が主だ。本棚に並ぶ絵本や小説、雑誌、マンガなどを自由に手に取り、穏やかな時間を過ごす。古本を寄付すればポイントがたまり、ドリンクと交換できるサービス



利用者が手作りしたコースターや、ドリップコーヒーが購入できる

もある。

ここは特定非営利活動法人あそーとが就労継続支援B型事業所として運営し、障害のある人が働く「居場所」としても機能している。カフェや2階の作業場では、利用者たちが調理補助、寄付された本の清掃、コーヒーの袋詰め、コースター作りなど、店の業務にまつわる軽作業に取り組み。カフェの本棚に障害者やLGBTなどに関連する棚があるのはそのためだ。

昨年の4月からは、月に一度ゲストを招いて「知るカフェ」を開催。ゲストの話や、参加者の質問タイムなどで場が作られる。テーマは「若者の居場所づくり」「会社で働く以外の働き方って?」「悪いことをした人は悪い人か」など多岐にわたる。「イベントを行うことで、テーマに関心を持って来てくださる地域外の人のほか、近隣でも店の存在に気づいてくれる人が増えました」と責任者の尾野貴浩さんは話す。店がオープンして約3年半。地域やお客さんとのつながりを一層深めながら、障害のある人だけでなくどんな人にとっても居心地のいい場所として、ますます愛される店になるに違いない。

並河智子



未来を変える目標 SDGs アイデアブック

一般社団法人Think the Earth編著・発行、国際協力機構 (JICA) 編集協力、蟹江憲史監修、ロビン西漫画紀伊國屋書店発売、2018年5月 本体1800円+税

2015年9月、193の国連加盟国の全会一致によって2030年までの「持続可能な開発のための目標 Sustainable Development Goals: SDGs (エス・ディー・ジーズ)」が採択された。

SDGsは、今よりもっと良い世界へと未来を変える「みんなのための、みんなで支える目標」。共通の目標を持てば、国連や政府だけでなく、企業、自治体、NPO、個人が「持続可能な世界」の姿を共有し、それぞれの立場で目標達成に向けて行動できる。だが、20の国・地域で調査したSDGsの平均認知率51.6%に対し、日本では15%にとどまっている(2018

年電通調査)。

本書は、SDGsを知り、行動を始めている人たちのアイデアに触れることで、未来を変える新たな行動を引き出そうとする本である。中高生向けの平易な文章で書かれているが内容は濃い。SDGsを初めて聞く人も、何回か聞いたがよくわからないという人も、それぞれの気づきが得られる工夫が随所にある。

まず、インフォグラフィックスを使って各目標の現状と課題を説明する。豆知識が得られるクイズや、目標どうしの関連性を考える問い「考えてみよう」もあり、SDGsをより深く広く捉えることができる。

そして「未来を変えたアイデア」34事例を紹介。「目標1. 貧困をなくそう」では、お寺の「おそなえ」を仏様の「おさがり」として必要なお寺におすすわけする活動が、「目標6. 安全な水とトイレを世界中に」では、空気中の水蒸気を水源にするアフリカでの取り組みが紹介されている。それぞれの持ち場で行動する人たちのアイデアを共有し、「こんなことができるなら、こんなこともできるかも」という読者の発想を引き出す。

環境問題や金融、難民支援など14人の専門家の解説により、SDGsを読み解くさまざまな視点を得られるのもうれしい。

編集委員 中川 智子

～市民視点のドキュメンタリー映画を紹介する

米騒動 1000年を記念して制作された本作は、1000年という時間をいかに乗り越えることができるかを、私たちに教えてくれる貴重な記録映画だ。私が昨年発表した『夜明け前 呉秀三と無名の精神障害者の1000年』も、同じく舞台は1000年前。拙作の取材が一番苦労したのは、1000年という時間をいかに描き出すかということだったので、それがたやすいことではないことを改めて実感した。

「百年の歳」とは、北陸・富山県魚津市の漁師町に現存し、米騒動（1918・大正7）の発端となった米蔵。かつては富山県東部で収穫された米を集積する貯蔵庫として活用されていた。教科書にも載る有名な事件だが、実際のところ私たちはその詳細をよくわかっていない。いつたいなぜ米騒動は起こり、いかに展開し、どのような結末を迎えたのか。映画はその真実と背景を入念に描き出す。

魚津の漁師町から始まった米騒動はまたたく間に全国に広がった。600カ所以上で暴動が勃発、検挙者や死者・重傷者を多数出し、軍を動員する事態にまで発展する。観て初めて知ったのだが、米騒動は魚津で暮らす漁師の「母ちゃん（妻）」によって引き起こされたという。しかもその理由には、米価の高騰で漁師（夫）に

市民活動と米騒動を考える



語り：佐藤B作
監督：神央（じん・あきら）
プロデューサー：三浦麻子・北村皆雄
製作：「百年の歳」映画制作委員会／ヴィジュアルフォークロア
2018年 | 99分 | バリアフリー上映対応
上映情報
全国順次公開中 最新情報は<http://100nennokura.com/>



●今月の館主

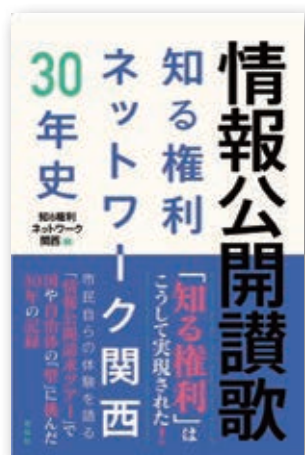
いまいともき
今井 友樹

イラスト：杉浦 健

1979年岐阜県生まれ。日本映画学校（現・日本映画大学）卒業後、日本各地の基層文化を映像で記録・研究する民族文化映像研究所に入所。所長の姫田忠義に師事し、映像制作に関わる。現在、株式会社工房ギャレットの代表を務める。

持たせるご飯が買えなくなることや愛した、実に慎ましく切実な思いからであった。そして意外なことに、魚津では検挙者を出すほどの暴動には発展しなかったのだ。映画には世を動かした「母ちゃん」たちの子孫が多数登場する。彼ら彼女らもまた水産業に従事している。日々の営みや事件を伝え聞く生の言葉によって、米騒動の真相がありありと浮かび上がってくるのだ。映画はさらに「母ちゃん」たちの心を動かした理由や、米騒動が全国に広がった背景、一方魚津では暴動にまで発展しなかった背景まで、最近発見された新資料や検証によって明らかにする。それを知るうちに、この映画は市民活動の源流を描いているとまで思うようになった。

私の市民活動 Library (第30回)



情報公開讃歌
知る権利ネットワーク関西30年史

知る権利ネットワーク関西編著
花伝社、2018年12月
本体1700円＋税

2018年、映画『ペンタゴンペーパーズ／最高機密文書』が公開された。国防総省の最高機密文書を暴露したジャーナリストを描いたスピルバーグ監督作品で、メルル・ストリープ、トム・ハンクスの名演とともにアカデミー賞ノミネート作品にもなった。今から40年以上前の実話をもとにした映画であるが、メディアを攻撃する現トランプ政権が当時のニクソン政権と重なるとして、大きな話題になった。

この映画にあるように、アメリカでは「ウォーターゲート事件」に端を発した政治スキャンダルの影響で、国や政治家による情報隠蔽が大きな社会問

題になり、情報公開や「知る権利」が注目されるようになった。「知る権利」は、市民が自由に情報を受け取り、国や自治体に対して情報公開を請求できる権利であり、民主主義社会における国民主権の基盤である。日本では1999年に情報公開法が制定され、憲法上の基本的人権とも考えられている。しかし、近年の「報道の自由度ランキング」では、日本はG7中で最下位となっており、昨今の現状を見る限り、森友・加計問題、自衛隊の文書隠しや改ざんなど、情報公開が進んでいるとは言えない状況にある。

本書は、「知る権利ネットワーク関西」の30年の活動を

まとめたもので、情報請求運動の体験者による貴重な記録である。同グループは、関西各地で「情報公開」や「個人情報保護」というテーマに取り組んでいる市民団体で、最高裁まで争った情報公開行政訴訟も多く、また「情報公開請求ツアー」などユニークな活動を続けている。世界的な傾向としてメディアへの言論弾圧などが進む中、このような市民による情報公開請求への取り組みは重要であり、今後も活動の継続が強く期待される。

編集委員 芝崎 美世子